

ARIBの動き

ワイヤレス・テクノロジー・パーク2007が開催される

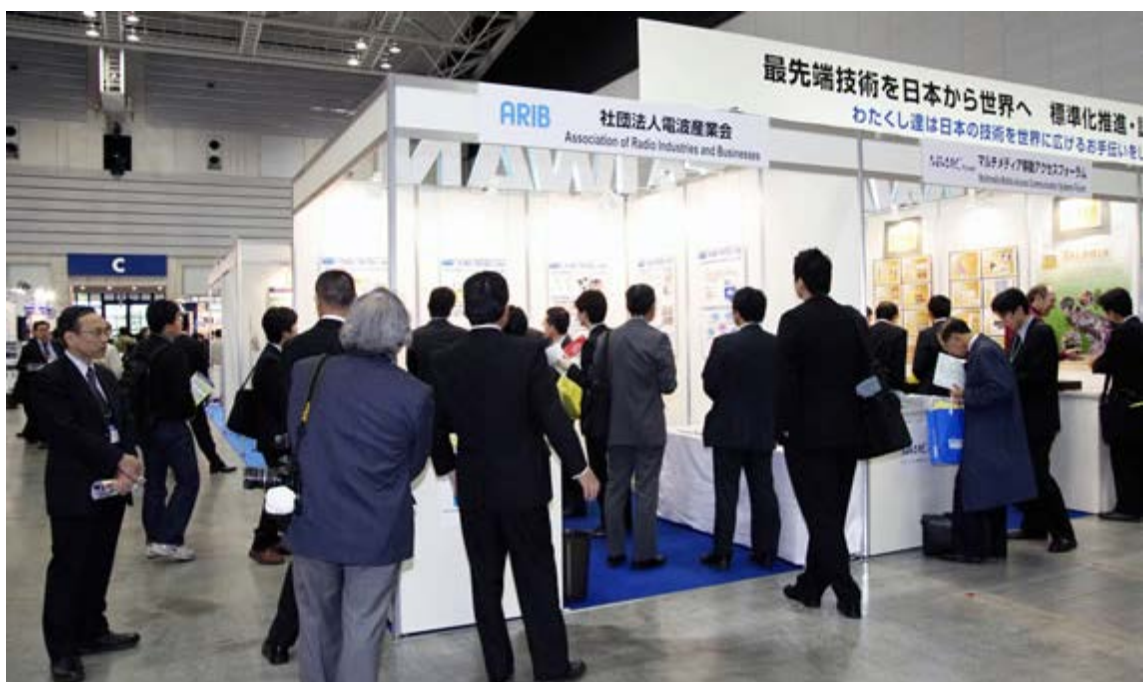
去る4月4日から4月5日にかけて、パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい）において、ワイヤレス・テクノロジー・パーク2007(WTP2007)が61社の出展のもとで開催されました。

ワイヤレス・テクノロジー・パークは、最先端あるいは研究段階における技術の事業化や標準化の推進を支援すると共に、海外の行政機関、民間企業との交流促進を通じて国際競争力のある技術を生み出すことに貢献することを目的として開催されています。

当会のブースでは、パネル展示によるARIBの概要、標準規格策定業務等の紹介及び通信・放送分野における最新の研究開発の紹介並びに各種パンフレットの配布を行いました。

二日間のWTP2007の入場者は5112人で、ARIBブースには883人にご来場いただき、活発な質問が寄せられました。

また、ARIBが事務局を務めるマルチメディア移動アクセスフォーラム（MMACフォーラム）のブースも隣に設置され、UWB（Ultra Wide Band：超広帯域）無線システムのデモ及び説明が行われました。UWB無線システムのデモはテレビ局が取材に訪れる等、好評でした。



WTP2007におけるARIBブース及びMMACフォーラムブースの様子

アナログ周波数変更対策業務について

地上デジタルテレビのチャンネルを確保するため、平成15年2月に開始した一部地域で必要な地上アナログテレビのチャンネル変更に係る受信対策が、本年3月30日をもってすべて終了（速報値：653地域・約471万世帯）しました。今後は、地上デジタルテレビ放送が開始された地域でアナログテレビ放送に影響がでることがありますが、その対策については、引き続き実施します。

電気通信・放送 行政の動き

「高利得FWAシステムの技術的条件案」に対する意見募集 (広帯域移動無線アクセスシステム委員会報告案に対する意見募集) [平成19年3月28日総務省報道資料]

情報通信審議会情報通信技術分科会広帯域移動無線アクセスシステム委員会（主査：安藤 真 東京工業大学大学院教授）は、広帯域移動無線アクセスシステム（BWAシステム）を地域のブロードバンド整備のために固定的にFWA（固定の無線加入者回線）として利用することができるようにするため、「高利得FWAシステムの技術的条件」について平成19年1月より検討を行って参りました。

このたび、同検討に関する委員会報告案（技術的条件案及び参考資料）を取りまとめましたので、広く国民の皆様から以下の要領で意見を募集いたします。

1 意見募集の対象

高利得FWAシステムの技術的条件案

2 概要

情報通信審議会情報通信技術分科会広帯域移動無線アクセスシステム委員会は、広帯域移動無線アクセスシステム（BWAシステム）を地域のブロードバンド整備のために固定的にFWA（固定の無線加入者回線）として利用することができるようにするため、平成18年12月の情報通信審議会答申において今後の検討課題とされた高利得FWAシステムの技術的条件等について、平成19年1月より検討を行ってきており、これまでの検討結果について取りまとめたものです。

3

募集期限

平成19年4月18日(水)午後5時まで

4 今後の予定

意見募集の結果を踏まえ、本年4月中に報告を取りまとめる予定です。

なお、詳細は総務省報道資料

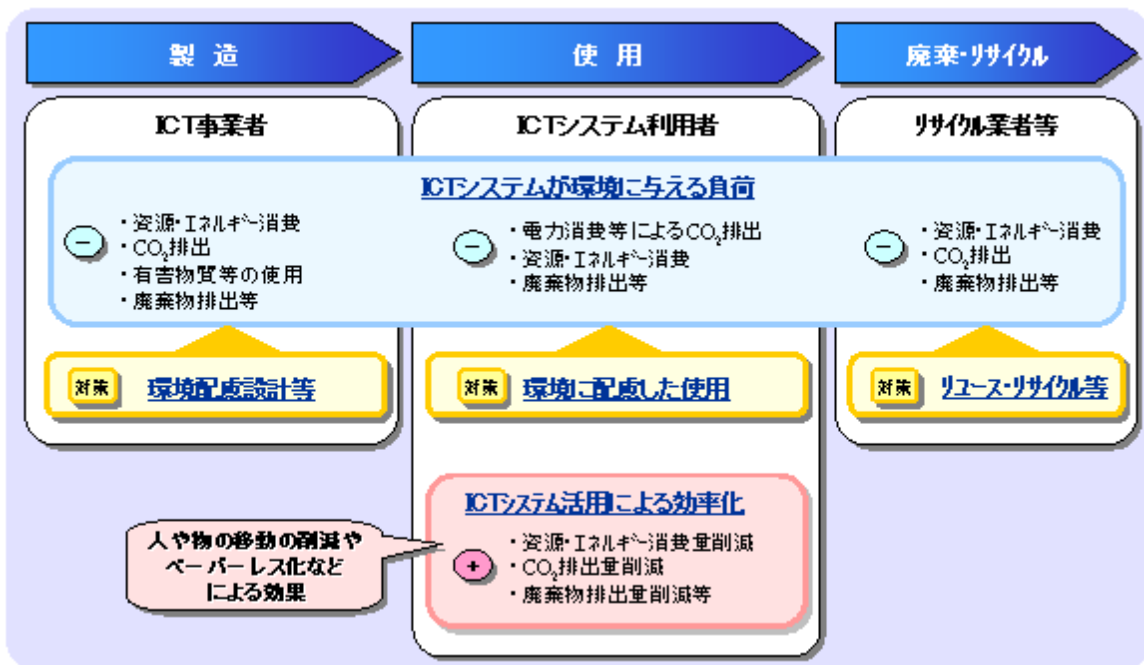
<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/070328_7.html>を参照して下さい。

ガイドブック「ICTを環境にやさしく活用するために」の公表
「マイナスの影響」を抑え、「プラスの効果」を高めるICT利用
[平成19年4月6日総務省報道資料]

生産・流通・消費の経済活動及び行政の効率化を飛躍的に進展させ、いつでもどこでも何でも誰でも便利な社会を実現するためのインフラとして不可欠なICT（情報通信技術）は、環境負荷の低減にも大きな役割を果たすと注目されています。その一方で、ICT機器が今後さらに増加・高機能化することにより、機器使用時の電力消費量等が増加し、これに伴う二酸化炭素排出による環境負荷も大きくなるという指摘もされています。

総務省では、こうした状況を踏まえ、ICTシステム利用時の環境負荷を低減するため、昨年11月から外部委託により、「環境負荷低減に資するICTシステム及びネットワークの調査研究会」（座長：森俊介 東京理科大学教授）を開催し、ICTが環境に与える影響や将来予測、省エネ技術や効率化技術の動向等について調査研究を行ってきました。

このたび、本調査研究会の検討結果を受け、ICTシステムを利用する企業・団体等を対象としたガイドブック「ICTを環境にやさしく活用するために「マイナスの影響」を抑え、「プラスの効果」を高めるICT利用」を作成し、公表することとしました。



ICTシステムが環境に与える影響

<添付資料>

ガイドブック「ICTを環境にやさしく活用するために「マイナスの影響」を抑え、「プラスの効果」を高めるICT利用」

<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/pdf/070406_1_1.pdf>

なお、詳細は総務省報道資料

<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/070406_1.html>を参照して下さい。

「ユビキタスネットワーク時代に向けたマルチコンテンツ利用技術の実証」
に係る意見の募集

[平成19年4月9日総務省報道資料]

1 概要

総務省は、放送番組その他のコンテンツを、地上デジタル放送と同等の品質でテレビ受像機等へIPネットワークにより、マルチキャスト配信、オンデマンド・ストリーミング配信、ダウンロード配信等のさまざまな形態で配信する、いわゆるIPTVサービスの実現に向けて、送出側・伝送路・視聴端末のそれぞれにおいて必要とされる技術要件や運用に関わるルールについて総合的な検討を実施する「ユビキタスネットワーク時代に向けたマルチコンテンツ利用技術の実証（調査研究）（※）」を予定しております。

そこで、本調査研究の内容の充実を図る目的で、仕様書案の策定に先立ち、実施すべき検証項目等について、広く意見を募集いたします。

※：平成19年1月26日付官報にて資料提供招請を実施したものと同一の調査研究です。

2 意見募集要領

ユビキタスネットワーク時代に向けたマルチコンテンツ利用技術の実証（調査研究）」意見募集要領<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/pdf/070409_2_bs1.pdf>のとおり。

3 募集期間

平成19年4月9日(月)から5月11日(金)午後5時必着

なお、詳細は総務省報道資料

<http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/070409_2.html>を参照して下さい。

編集後記

4月4日のワイヤレス・テクノロジー・パーク2007に写真班として参加しました。

なりゆきで説明員としてもちょっぴり働き、昼食休憩中には、みなとみらいの界隈を散策し、雄大な「横浜ランドマークタワー」に感心していました。



終了後、会場のパシフィコ横浜から出た時は夜の8時近くになっていましたが、目に飛び込んできたのが、ライトアップされたよこはまコスモワールドの大観覧車「コスモクロック21」でした。直下から仰ぎ見る「コスモクロック21」の威容に圧倒され、「夜のみなとみらいの主役は『横浜ランドマークタワー』ではなく、『コスモクロック21』かな。」と感じました。

(編集子:PAO)

[ページの先頭に戻る ▲](#)